

◇『奈良史学』第十七号をお届けします。本号も、力作が揃いました。非常勤講師の林田敏子氏（西洋史特殊講義担当）は、今年三月に奈良女子大学より博士号を取得なさった気鋭の社会史研究者です。また、同じく三月に本学を卒業なさった武田明子氏のご論考は、同氏の卒業論文に基づくものです。そして、専任教員からは、鎌田道隆氏と森田憲司氏が玉稿をお寄せくださいました。ゆくりと、ご味読ください。

◇かつて「象牙の塔」と評された大学にも、今や「開放」の季節が到来しています。奈良大学でも、今年度から放送大学との間で、そして来年度からは帝塚山大学との間で、単位互換が始まります。さらに文学部では、従来の学科の枠を越えるような「世界遺産」コースが開設されるようとしています。史学科では、今年度、編入生や転科生を迎えました。彼らとともに、新風が吹いてきたように感じます。

◇今日は、公募制推薦入試の当日です。史学科では、オーソドックスな小論文審査による選抜を続けてきました。

賛否両論があるでしょうが、試験の多様化とともに、多様な学生が入学してくるようになりました。この多様な学生の多様なニーズにどう応えていくべきか、私たち教員の力量が問われている、と思います。
(A)

奈良史学 第十七号

一九九九年十二月二十二日印刷
一九九九年十二月二十五日発行

奈良市山陵町一五〇〇（〒三一八六一）
奈良大学文学部内

発行者 奈良大学史学会

会長 菅野正

電話（〇三）四四一一二五（代）
振替 〇〇九九〇一一三二五九四九

印刷所 奈良市南京終町三一四六四（〒六三〇八四）
明新印刷株式会社

奈良大学史学会会則

第一条(名称) 本会は、奈良大学史学会と称する。

第二条(目的) 本会は、歴史学の研究・教育の発展を図ることを目的とする。

第三条(事業) 本会は、前条の目的を達成するため、つぎの事業を行なう。

(一) 機関紙『奈良史学』の刊行

(二) 研究会および講演会の開催

(三) その他本会の目的を達成するために必要な諸事業

第四条(事務局) 本会の事務局は、奈良大学文学部史学科研究室におく。

第五条(会員) 本会の会員は、奈良大学文学部史学科教員・学生および入会希望者をもって構成する。

第六条(会費) 本会の会員は、下記の会費を納入する。会費の変更は、総会において決定する。

教員会員 年額 二、〇〇〇円

学生会員 年額 一、〇〇〇円

その他 年額 一、〇〇〇円

第七条(役員) 本会に下記の役員をおく。

会長 一名

副会長 一名

監事 二名

委員 若干名

第八条(役員を選出) 会長は、奈良大学文学部史学科主任教授がこれにあたる。

その他の役員は会長が委嘱する。

第九条(役員の仕事) 会長は、本会を代表し会務を総括する。

副会長は、会長を輔佐し、会長事故あるときはこれに代る。

監事は、会計監査を担当する。

委員は、運営・会計・庶務などの会務を分担する。

第一〇条(役員の仕事) 役員の仕事は、一年とする。但し重任を妨げない。

第一一条(総会) 総会は、年一回開催し、会務報告を行なう。

第二二条(経費) 本会の経費は、会費・補助金およびその他の収入をもってこれにあてる。

第二三条(会計年度) 本会の会計年度は、毎年四月一日から始まり翌年三月三十一日までとする。

第一四條(会則変更) 本会の会則の変更は総会の議決による。

附記 この会則は昭和五十八年四月一日から施行する。

NARA JOURNAL OF HISTORY

NARA SHIGAKU

No. 17

1999

CONTENTS

Articles

- House-renter Problems in the Early-Modern Kyoto:
A Consideration through *Machibure* and the
Regulations of *Chō* Michitaka KAMADA (1)
- The Role of Assembly Houses for *Chō* in the Early-
Modern Kyoto Akiko TAKEDA (41)
- Intellectuals in *Jinyuan* Area at the Transition from
Sung to *Yuan*: An Approach from their Writing
Stone Inscriptions Kenji MORITA (63)
- Reconsideration of the Creation of New Police:
The Passage of Metropolitan Police Act in 1829
..... Toshiko HAYASHIDA (79)

Department's News

Edited and Published

by

THE NARA DAIGAKU SHIGAKUKAI

(The Historical Society of Nara University)

office : 1500 Misasagi, Nara, Japan